

徳島県の森林・林業関係学校への人材育成支援について

四国森林管理局 徳島森林管理署 業務グループ係員 ○佐藤 ひより
主任森林整備官 中川 往樹

1 課題を取り上げた背景

徳島県では、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立していくために林業の担い手の確保・育成等が重要な課題となっています。その対応策として、平成28年度に「とくしま林業アカデミー」が開校されたほか、徳島県立那賀高校には「森林クリエイト科」が設置されるなど、課題解決に取り組んでいます。当署としても、森林・林業関係学校への人材育成に協力するため、当署職員が担当者と打合せを重ね事業地や機器などを提供していますが、これらの支援を継続していくため、平成30年に徳島県、アカデミーを運営する公益社団法人徳島森林づくり推進機構及び四国森林管理局が協定を締結し、3者が連携して人材育成に取り組むこととしています。本発表では、とくしま林業アカデミー及び県内の林業関係高校等を対象に実施した教育支援の取組について紹介します。

2 取組の内容

(1) とくしま林業アカデミーへの技術支援

当アカデミーは、県内の森林・林業現場で即戦力となる人材の育成を目的に知識や技術を学び、一年間各種技術や資格を学習します。当署では、森林面積調査の基本となるコンパス測量やドローンの操作実習、オルソ画像を作成するための測量飛行の講義を行っています。

(2) 徳島県内の林業関係高校への教育支援

那賀高校では、学校で学ぶ専門教科分野を補完する授業を実施しています。また、徳島県立池田高校三好校においても徳島県と共同し、ドローンの操作実習や林業関係への就業に興味を持ってもらえるような取組を行っています。

(3) インターンシップへの業務体験支援

当署では、大学等の学生を対象とし、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として、実務に即した業務体験を行っています。

3 取組結果

とくしま林業アカデミーでの研修生を対象にコンパス測量やドローン講習では、令和4年に改正された航空法について重点的に講義を行いました。

那賀高校では、徳島県の森林・林業についての講義や境界検測等の実習のほか、インターンシップの受け入れも行いました。また、県立池田高校三好校では、徳島県林業振興担当と合同で、林業関係の公務員の就職ガイダンスやドローン講習を行いました。



(写真1：林業アカデミーコンパス測量)



(写真2：池田高校三好校ドローン講習)

4 考察

林業関係高校の生徒は、卒業後の森林林業関係への就業率が低いいため、インターンシップや講義の機会を捉え、先生、生徒からのニーズや意見を取り入れながら林業部門への魅力を伝えていくことが重要です。今後も先端技術を駆使しての森林林業のさらなる効率化・省力化は不可欠であり、継続した人材育成支援の取組を通じ、国有林と民有林がさらに「近い関係」になることを期待しています。